

## 浮遊カビ除去評価試験

## 目的

空気消臭除菌装置によって1m<sup>3</sup>空間の浮遊カビに対する除去効果进行评估する。

## 試験方法

- 試験機関：一般財団法人 北里環境科学センター
- 識別番号：北生発 2023\_0447号（報告書番号）
- 試験種類：集塵
- 対象分類：カビ
- 試験対象：アオカビ孢子
- 試験品：空気消臭除菌装置：MC-S201（ブルーデオ）
- 試験条件：光源（ブルーデオに内蔵）風量（運転モード”ターボ” 0.70 m<sup>3</sup>/min）  
：チャンバー容積（1 m<sup>3</sup>）  
：作用時間（0分、30分、60分、120分）
- 試験方法：1m<sup>3</sup>試験空間内でブルーデオ S型をターボモードで稼働し経過時間ごとに浮遊カビ数を測定

## 試験結果

MC-S201 による経過時間ごとの浮遊カビ数を示した。

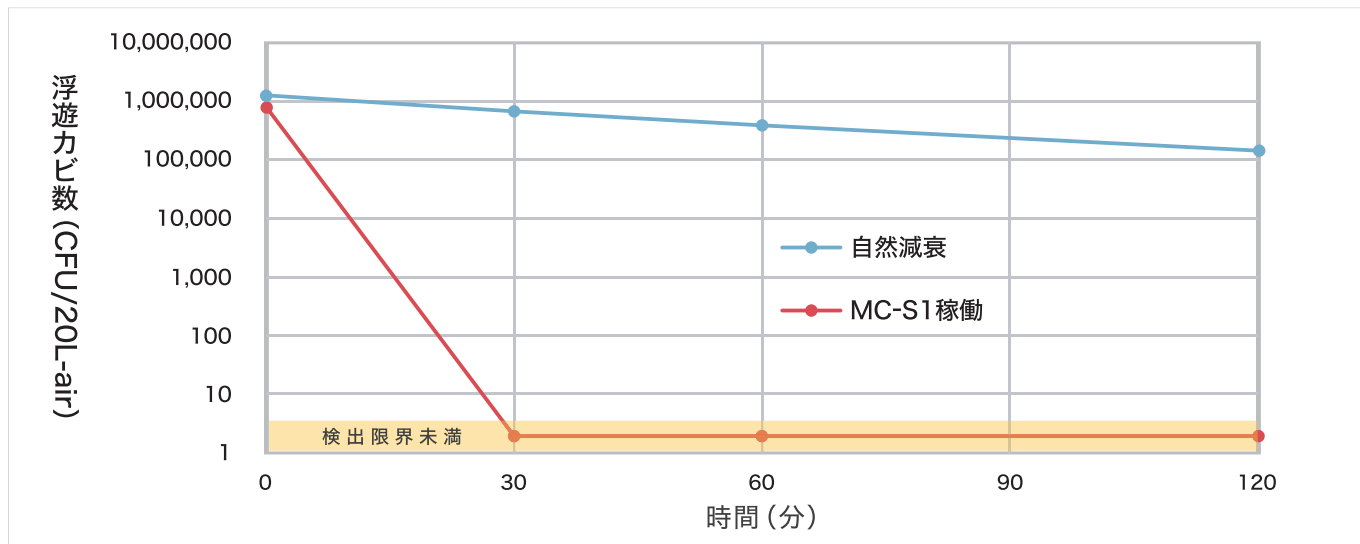
経過時間ごとの浮遊カビ数

単位：CFU/20 L-air

	0分	30分	60分	120分
自然減衰	1,200,000	690,000	390,000	140,000
MC-S201 稼働	810,000	2	<2	<2

※<2 は検出限界未満を表す。

図 1. 経過時間ごとの浮遊カビ数

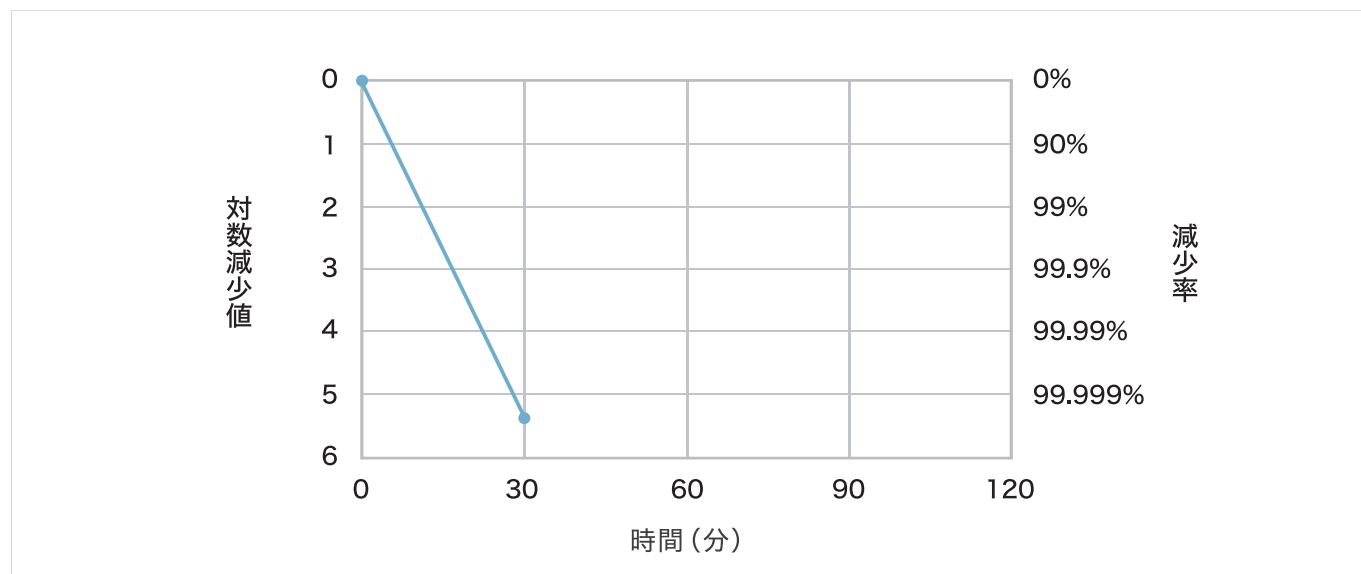


## 経過時間ごとの自然減衰と MC-S201 の浮遊カビ数から計算した対数減少値と減少率を示した。

表 2. 経過時間ごとの浮遊カビ数の対数減衰値と減少率 (%)

	0 分	30 分
対数減少値 (減少率)	0.00 (0%)	5.37 (>99.99%)

図 2. 経過時間ごとの浮遊カビ数の対数減衰値と減少率



本試験によって得られた試験品による対数減少値(減少率)は30分で5.37(>99.99%)となった。対数減少値(減少率)が2.0(99%)以上となり浮遊カビに対する除去性能があると認められた。

注) 研究試験データであり、実使用環境での効果を示すものではありません。

## 試験風景

図 3. 1 m<sup>3</sup> 試験チャンバー内の様子 (中央に空気消臭除菌装置 MC-S201 を設置)

